

提案者名：淡路市

(共同提案者：(株)ほくだん、シン・エナジー(株))

対象年度：令和 4 年度

<総論>

1. 民生部門の電力消費に伴う CO2 排出の実質ゼロの実現について

夢舞台サスティナブル・パークエリアを中心とした脱炭素先行地域（以下、先行地域という。）の脱炭素化に向け、対象需要家の2割にあたる2施設で設備導入の合意済みとなった。世界的な資材不足の影響により令和4年度末までの完工が難しく、令和5年11月末完工のスケジュールで実装する事となる。

残りの既存民間施設は6施設で、大卒の合意については令和5年度中に行い、需要家毎の事情を勘案しつつ設備導入時期を見極める予定（1施設：東浦花の湯の電力についてはPV導入ではなく再エネメニューによる脱炭素の方向で検討）。

なお新設予定のパソナグループ本社と関西看護医療大学（新設サテライト大学）については、ZEBReady基準での建設について協力依頼済みで、先方としても本交付金を利用できる利点についてはご理解頂いている。

先行地域エリア外の取組としては、ため池PVについて現時点で16カ所の有力候補池があり、そのうち3カ所の田主代表からは関係者への説明依頼等があり、こちらも令和5年度中に大卒の合意形成をする事とため池の規模及び系統接続費用負担含めて、実装する規模を見極める予定。営農PVについても1カ所候補地があり、現時点で営農者（土地所有者でもある）も前向きなご意見を出してもらっており、令和5年度では計画の具体化について話をすすめる予定。

既存再エネ買取事業及び戸建て住宅太陽光発電導入事業については今のところ優先順位を下げており、世界的な燃料費高騰による電気代（小売事業者にとっては発電原価）高騰が沈静化または一般化する時期を見計らって、一般消費者に対しての取組を改めて展開する考え。

その他、竹チップボイラーの導入＝放置竹林問題の解消を目指して専門家らを含めた「放置竹林意見交換会」を実施し、竹の利用方法を多数確立する事でチップ化のコスト低減を目指す取組を実施した。ヒートポンプ代替については優先順位を下けているものの、対象団地住民向けに意識調査すべくアンケートを実施予定で、その結果次第で取組の優先度を見極める予定。

EVカーシェア導入については今のところ、パソナグループ本社建設計画の進捗と合わせて進める予定。

2. 計画の変更箇所について

- ・ ファーマライズへのカーポート型太陽光発電導入の計画については、カーポート設置の見直しの必要性が出たため、令和5年度に隣接施設屋根上を借りて設置（自営線による送電）する計画へと変更予定である。

3. 計画の変更可能性、今後の展開について

- ・ 令和5年度で計画していたパソナグループ本社の新設ビル ZEBReady 対応と太陽光発電・蓄電池導入については、建設計画の見直しなどにより今のところ令和6年度以降へ変更する予定である。
- ・ 同じく令和5年度で計画していたヒートポンプ導入事業については、価格高騰や部材の調達に遅れが生じている太陽光発電導入事業を最優先する事とし、一旦令和6年度以降へ変更する予定である。

4. その他（評価委員会からの講評への対応状況等）

委員会講評①：地域課題である放置竹林の伐採によるチップ化、ため池や荒廃農地を活用した再エネ導入などに期待。

⇒ため池、農地において地域に裨益する形で再エネ設備を導入するため、市内ポテンシャル調査、営農者等へのヒアリングを実施し、事業化を検討している。R5年5月頃には、促進地域等を明示するゾーニングマップを公表する予定。

委員会講評②：各需要家との合意形成や、オフサイトで太陽光発電設備を設置する農地・ため池に係る合意形成の状況については、今後、評価委員会でもフォローアップしていくので、早期に対応されたい。

⇒AIE 国際高等学校、聖隷こども園との PPA 導入について合意済み。他の需要家には、令和4年6月開催の夢舞台サステイナブル・パーク創造委員会において説明した。

また、ため池については令和5年2月10日、11日にため池太陽光発電に関する意見交換会を実施し、その後3カ所の田主代表からは追加説明や関係者への説明会開催などの依頼といった反応が寄せられている。

営農PVについては現在の有力候補地の営農者（土地所有者）と、耕作放棄地となっている土地で肉牛の放牧地としての再生と営農PV設置という方向で話が進んでいる。

<事業費>

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払		
その他交付金等 ()	精算払・概算払		
その他交付金等 ()	精算払・概算払		
民間等による資金			
合 計			

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

<エリア図と進捗状況>

: 太陽光発電_決定済み

: 太陽光発電_申請提案書計画地点または需要家との協議により検討している箇所

聖隷淡路病院
令和6年度計画
カーポートと野立て
計画値 1490kW 蓄電池 4000kWh

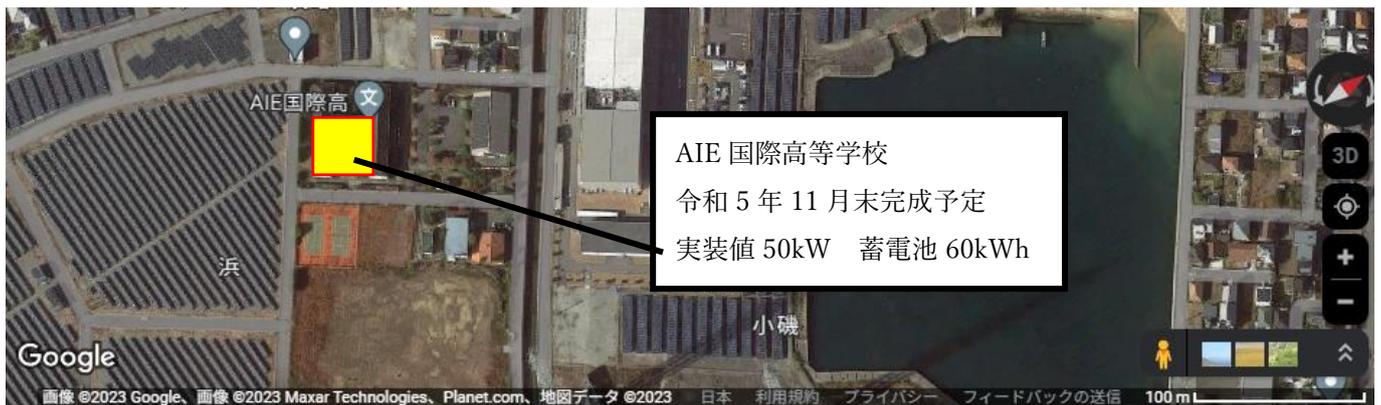
ファーマライズ用
※カーポートから見直し
令和5年度計画
計画値 213kW 蓄電池 1000kWh

プライミクス社宅用
※カーポートから見直し
令和5年度計画
計画値 163kW 蓄電池 500kWh

聖隷こども園夢舞台
令和5年11月末完成予定
実装値 42kW 蓄電池 50kWh

新設：パソナグループ本社
令和6年度計画
屋根上等と野立て
計画値 2677kW 蓄電池 6000kWh

新設：関西看護医療大学
令和7年度計画
屋根上とカーポートまたは野立て等
計画値 531kW 蓄電池 1000kWh



エリア内の民生電力需要家	
件数（実績/計画数）	2件/10件施工決定
設備容量（実績/計画数値）	92kW/5746kW 施工決定

別記様式第1号 別添

【「実質ゼロ」の達成率】

$$\left(\begin{array}{l} \text{再エネ等の電力供給量} \\ \text{(A)} \end{array} \right. \left. \begin{array}{l} \text{省エネによる電力削減量} \\ \text{(B)} \end{array} \right) \div \begin{array}{l} \text{民生部門の電力需要量} \\ \text{(C)} \end{array} = \text{達成率}$$

$\left(\begin{array}{l} 0 \text{ (0 \%)} \\ \text{(kWh/年)} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{l} 0 \text{ (0 \%)} \\ \text{(kWh/年)} \end{array} \right) \div \begin{array}{l} 22,833,340 \\ \text{(kWh/年)} \end{array} = \begin{array}{l} 0 \\ \text{(\%)} \end{array}$

No.	種類	民生部門の電力需要家	件数	合意形成の状況	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)				再エネ等の電力供給元(発電主体)	省エネによる電力削減量 (kWh/年)	CO2 排出削減量 (t-CO2)	実施取組
						合計	内訳						
							自家消費等	相对契約	再エネメニュー				
①	公共	国営公園	1箇所	<input type="checkbox"/> 合意済み <input type="checkbox"/> 一部合意 <input checked="" type="checkbox"/> 一部説明 <input type="checkbox"/> 未説明	661,062	0	0	0	0	0	0	【再エネ】 ① 【省エネ】	
②	民生・業務 その他	医療・ 保育・教育	4箇所	<input type="checkbox"/> 合意済み <input checked="" type="checkbox"/> 一部合意 <input type="checkbox"/> 一部説明 <input type="checkbox"/> 未説明	4,100,816	0	0	0	0	0	0	【再エネ】 ②③⑦⑧ 【省エネ】 ②	
③	民生・業務 その他	オフィスビ ル	1箇所	<input type="checkbox"/> 合意済み <input type="checkbox"/> 一部合意 <input checked="" type="checkbox"/> 一部説明 <input type="checkbox"/> 未説明	17,172,000	0	0	0	0	0	0	【再エネ】 ⑥ 【省エネ】 ①	
④	民生・業務 その他	商業施設	1箇所	<input type="checkbox"/> 合意済み <input type="checkbox"/> 一部合意 <input checked="" type="checkbox"/> 一部説明 <input type="checkbox"/> 未説明	280,320	0	0	0	0	0	0	【再エネ】 ④ 【省エネ】	
⑤	民生・業務 その他	宿泊・温浴 施設	1箇所	<input type="checkbox"/> 合意済み <input type="checkbox"/> 一部合意 <input checked="" type="checkbox"/> 一部説明 <input type="checkbox"/> 未説明	210,240	0	0	0	0	0	0	【再エネ】 【省エネ】	
⑥	民生・家庭	集合住宅	2箇所	<input type="checkbox"/> 合意済み <input type="checkbox"/> 一部合意 <input checked="" type="checkbox"/> 一部説明 <input type="checkbox"/> 未説明	408,902	0	0	0	0	0	0	【再エネ】 ⑤ 【省エネ】	
合計					(C)22,833,340	(A) 0	0	0	0	(B) 0	0		

電力需要家との合意形成の状況について（詳細）

○国営公園：国営明石海峡公園

令和4年度中に電力データ提供を受けて設備容量検証を行っていた。令和5年度になり先方担当者が異動となった為、4月10日に新担当者との検証結果踏まえて事業実施の方針について協議を行い、現在令和5年度末までの完成に向けて6月末までに今後の実施スケジュールを調整中。

○医療・保育・教育

聖隷こども園夢舞台とAIE国際高等学校については、令和5年11月30日に完工予定で契約締結済。聖隷淡路病院については新病棟追加の計画も進んでいる為、令和5年度中に再エネ設備の設計方針を確定させる予定。サテライト大学（関西看護医療大学）については令和8年4月のキャンパスオープンが決まっており、先方の設計進捗に合わせて再エネ、省エネ取組を計画してゆく。

○オフィスビル

現状、パソナグループ本社の建設計画の進捗が当初予定より遅れている状況にあり、それに伴って柔軟に計画変更を行っていく。

○商業施設

ファーマライズ（薬局、コンビニ、飲食店の複合）はエリア責任者である関西支店長と協議中で、事業検証にあたっての電力データの提供にご協力頂く事で合意済み。引き続き事業実施の方針について協議を行い、令和5年度末までの完成に向けて6月末までに大枠合意する為に調整中。

○宿泊・温浴施設

東浦花の湯においては再エネ電源導入ポテンシャルが見いだせていない為、基本的には再エネメニュー契約による脱炭素を図る。

○集合住宅

プライミクス社宅については需要家として福利厚生施設の社宅に対する取組意義について合意形成に向けた協議中。南鶴崎団地については、再エネ導入ポテンシャルを見いだせていない為、基本的には再エネメニュー契約による脱炭素を図る。

< 民生部門の電力消費に伴う CO2 排出の実質ゼロの実現について >

【再エネに係るもの】

○取組①：国営明石海峡公園自家消費太陽光発電及び蓄電池（目標値：発電出力）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		設計・工事	工事完了・運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)出力 kW	0	580	0	0	0	0	0	0
		(累計)出力 kW	0	580	580	580	580	580	580	580
状況	工程		設計・工事完了	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用
	実績	(単年度)出力 kW	0	0	0	0	0	0	0	0
		(累計)出力 kW	0	0	0	0	0	0	0	0

(説明)

計画提案書記載の計画では令和5年度で合意形成し、令和6年度で工事・完成させる予定であったが、先行地域づくり事業交付金については令和5年度予算での実行を余儀なくされており、概ね2023年6月末までに令和5年度中の実装に向けた合意形成を目指して需要家と調整中である。

≫計画提案書における設備計画：PV580kW 蓄電池 2,000kWh

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	156,988	
その他交付金等 ()	精算払・概算払		
民間等による資金		69,744	
合 計		226,732	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組②：聖隷こども園夢舞台自家消費太陽光発電及び蓄電池（目標値：発電出力）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程	設計・工事	工事完了・運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
	目標値	(単年度)出力 kW	0	51	0	0	0	0	0	0	0
		(累計)出力 kW	0	51	51	51	51	51	51	51	51
状況	工程	設計・工事	工事完了・運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
	実績	(単年度)出力 kW	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(累計)出力 kW	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(説明)

計画提案書記載の計画通り令和4年度で合意形成完了し、令和5年度で工事完了して2023年12月より(株)ほくだんのPPA事業として運用開始する予定である。

≫計画提案書における設備計画：PV51kW 蓄電池 500kWh

≫実装予定の設備：PV42.35kW 蓄電池 50kWh

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	21,333	
その他交付金等 ()	精算払・概算払		
民間等による資金		9,667	
合 計		31,000	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組③：AIE 国際高等学校自家消費太陽光発電及び蓄電池（目標値：発電出力）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程	設計・工事	工事完了・運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
	目標値	(単年度)出力 kW	0	50	0	0	0	0	0	0	0
		(累計)出力 kW	0	50	50	50	50	50	50	50	50
状況	工程	設計・工事	工事完了・運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
	実績	(単年度)出力 kW	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(累計)出力 kW	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(説明)

計画提案書記載の計画通り令和4年度で合意形成完了し、令和5年度で工事完了して2023年12月より(株)ほくだんのPPA事業として運用開始する予定である。

≫計画提案書における設備計画：PV50kW 蓄電池 500kWh

≫実装予定の設備：PV50.82kW 蓄電池 60kWh

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	21,333	
その他交付金等 ()	精算払・概算払		
民間等による資金		9,667	
合 計		31,000	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組④：ファーマライズ自家消費太陽光発電及び蓄電池（目標値：発電出力）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程	設計・工事	工事完了・運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
	目標値	(単年度)出力 kW	0	213	0	0	0	0	0	0	0
		(累計)出力 kW	0	213	213	213	213	213	213	213	213
状況	工程	計画見直し	設計・工事完了	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
	実績	(単年度)出力 kW	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(累計)出力 kW	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(説明)

計画提案書記載の計画では令和4年度で合意形成完了し、令和5年度で工事完了させる予定であったが、カーポート PV に関して見直しの必要性が生じたため、計画より後ずれしている。

なお先行地域づくり事業交付金については令和5年度予算での実行を余儀なくされており、概ね2023年6月末までに令和5年度中の実装に向けた合意形成を目指して需要家と調整中である。

≫計画提案書における設備計画：PV213kW 蓄電池 1,000kWh

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	64,522	
その他交付金等 ()	精算払・概算払		
民間等による資金		27,881	
合 計		92,403	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組⑤：プライミクス社宅自家消費太陽光発電及び蓄電池（目標値：発電出力）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程	調査・設計	設計・工事	工事完了・運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
	目標値	(単年度)出力 kW	0	0	163	0	0	0	0	0	0
		(累計)出力 kW	0	0	163	163	163	163	163	163	163
状況	工程		設計・工事完了	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用	
	実績	(単年度)出力 kW		0	0	0	0	0	0	0	0
		(累計)出力 kW		0	0	0	0	0	0	0	0

(説明)

計画提案書記載の計画では令和4年度で調査、令和5年度で合意形成し、令和6年度で工事・完成させる予定であったが、先行地域づくり事業交付金については令和5年度予算での実行を余儀なくされており、概ね2023年6月末までに令和5年度中の実装に向けた合意形成を目指して需要家と調整中である。
 ≫計画提案書における設備計画：PV163kW 蓄電池500kWh

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	42,449	
その他交付金等 ()	精算払・概算払		
民間等による資金		19,037	
合 計		61,486	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組⑥：パソナグループ本社自家消費太陽光発電及び蓄電池（目標値：発電出力）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		設計・合意形成	工事完了	運用	運用	運用	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)出力 kW	0	0	2,677	0	0	0	0	0
		(累計)出力 kW		0	0	2,677	2,677	2,677	2,677	2,677
状況	工程		設計・合意形成	工事完了	運用	運用	運用	運用	運用	運用
	実績	(単年度)出力 kW	0	0	0	0	0	0	0	0
		(累計)出力 kW		0	0	0	0	0	0	0

(説明)

計画提案書記載の計画では野立てPVと新設建物の屋根上PVについて、令和5年度で設計、令和6年度で工事完了し、令和7年度から運用開始としている。現状、パソナグループ本社の新設計画の進捗が当初予定より遅れている状況にあり、それに伴って柔軟に計画変更を行っていく。

≫計画提案書における設備計画：屋根上PV1,677kW 野立てPV1,000kW 蓄電池6,000kWh

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	605,852	
その他交付金等 ()	精算払・概算払		
民間等による資金		276,677	
合計		882,529	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組⑦：聖隷淡路病院自家消費太陽光発電及び蓄電池（目標値：発電出力）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		設計	合意形成・工事	工事完了・運用	運用	運用	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)出力 kW	0	0	1,490	0	0	0	0	0
		(累計)出力 kW		0	0	1,490	1,490	1,490	1,490	1,490
状況	工程		設計	合意形成・工事	工事完了・運用	運用	運用	運用	運用	運用
	実績	(単年度)出力 kW	0	0	0	0	0	0	0	0
		(累計)出力 kW		0	0	0	0	0	0	0

(説明)

計画提案書記載の計画では野立てPVとカーポートPVについて、令和5年度で設計、令和6年度で合意形成、工事開始し、令和7年度に完成・運用開始としている。現状、病棟追加の計画も進んでいるため、予定通り令和5年度中に再エネ設備の設計方針を決定するように取り組む。

≫計画提案書における設備計画：カーポートPV954kW 野立てPV536kW 蓄電池4,000kWh

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	365,963	
その他交付金等 ()	精算払・概算払		
民間等による資金		165,482	
合 計		531,445	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組⑧：サテライト大学（関西看護医療大学）自家消費太陽光発電及び蓄電池（目標値：発電出力）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		設計	合意形成	工事	工事完了・運用	運用	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)出力 kW	0	0	0	531	0	0	0	0
		(累計)出力 kW		0	0	0	531	531	531	531
状況	工程		設計	合意形成	工事	工事完了・運用	運用	運用	運用	運用
	実績	(単年度)出力 kW	0	0	0	0	0	0	0	0
		(累計)出力 kW		0	0	0	0	0	0	0

(説明)

計画提案書記載の計画では屋根上（または野立て）PVとカーポートPVについて、先方の建設計画進捗に合わせて概ね令和5年度末頃から設計開始、令和6年度で設計と合意形成、令和7年度に工事開始し、令和8年度で完成・運用開始としている。現状、関西看護医療大学が2026年（令和8年）4月にキャンパスオープンの手配となっている。

※計画提案書における設備計画：カーポートPV231kW 屋根上（野立て）PV300kW 蓄電池1,000kWh

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	118,750	
その他交付金等 ()	精算払・概算払		
民間等による資金		55,000	
合計		173,750	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組⑨：ため池太陽光発電導入（目標値：発電出力）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	ゾーニング	合意形成	合意形成・設計	工事・順次設置	順次設置	順次設置	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)出力 kW	0	0	0	50	250	700	0	0
		(累計)出力 kW	0	0	0	50	300	1,000	1,000	1,000
状況	工程	ゾーニング	合意形成	合意形成・設計	工事・順次設置	順次設置	順次設置	運用	運用	運用
	実績	(単年度)出力 kW	0	0	0	0	0	0	0	0
		(累計)出力 kW	0	0	0	0	0	0	0	0

(説明)

計画提案書記載の計画では令和4年度のゾーニングを受けて令和5、6年度で合意形成と設計、令和7年度で工事開始及び順次設置し、令和9年度までで合計1,000kW設置としている。令和5年2月10日、11日にため池管理者（田主）を対象に行ったため池太陽光発電意見交換会后、3カ所のため池関係者から組合員への説明実施の要望等があり、具体的な費用感含めた次の段階の合意形成に向けて準備をすすめている。

≫計画提案書における設備計画：PV50kW×20箇所

≫設備規模変更の可能性：系統接続費用負担含めた高圧連系の可能性を見極めて、可能であれば500kW以上の規模の発電所建設とする。

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	180,000	
その他交付金等 ()	精算払・概算払		
民間等による資金		90,000	
合 計		270,000	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組⑩：営農型太陽光発電導入（目標値：発電出力）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	ゾーニング	合意形成	合意形成・設計	工事・順次設置	順次設置	順次設置	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)出力 kW	0	0	0	50	150	800	0	0
		(累計)出力 kW	0	0	0	50	200	1,000	1,000	1,000
状況	工程	ゾーニング	合意形成	合意形成・設計	工事・順次設置	順次設置	順次設置	運用	運用	運用
	実績	(単年度)出力 kW	0	0	0	0	0	0	0	0
		(累計)出力 kW	0	0	0	0	0	0	0	0

(説明)

計画提案書記載の計画では令和4年度のゾーニングを受けて令和5、6年度で合意形成と設計、令和7年度で工事開始及び順次設置し、令和9年度までで合計1,000kW設置としている。令和4年度のポテンシャル調査の中で600kW規模の営農PV（耕作放棄地を肉牛の放牧地として再生利用）の候補地が上がり、営農者（土地所有者）からも前向きなご意見をもらっており、令和5年度で具体的な費用感含めた次の段階の合意形成に向けて準備をすすめている。

≫計画提案書における設備計画：PV50kW×20箇所

≫設備規模変更の可能性：系統接続費用負担含めた高圧連系の可能性を見極めて、可能であれば500kW以上の規模の発電所建設とする。

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払		
その他交付金等（重点対策加速化事業）	精算払・概算払	135,000	
民間等による資金		135,000	
合計		270,000	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組⑪：戸建て住宅太陽光発電導入（目標値：発電出力）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	スキーム確立	合意形成・営業	順次設置	順次設置	順次設置	順次設置	順次設置	順次設置	順次設置
	目標値	(単年度)出力 kW	0	0	2,400	2,400	2,400	0	0	0
		(累計)出力 kW	0	0	2,400	4,800	7,200	7,200	7,200	7,200
状況	工程	スキーム確立	スキーム確立	合意形成・営業	順次設置	順次設置	順次設置	順次設置	順次設置	順次設置
	実績	(単年度)出力 kW	0	0	0	0	0	0	0	0
		(累計)出力 kW	0	0	0	0	0	0	0	0

(説明)

計画提案書記載の計画では令和4年度中に家庭向けPPA事業のスキームを確立させ令和5年度から営業を開始し、6年度より順次設置し、令和8年度末までで合計7,200kW設置としている。現状は先行地域エリア内需要家の自家消費太陽光発電導入を最優先として取り組んでおり、次いでため池、営農PVと取り組む中で、順次家庭向PPAスキームの形成を行う予定。

≫計画提案書における設備計画：PV6kW×1,200箇所

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払		
その他交付金等（重点対策加速化事業）	精算払・概算払	500,000	
民間等による資金		1,444,000	
合計		1,944,000	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組⑫：既存再エネ買取事業（目標値：発電出力）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	告知準備	広報掲載・買取	順次買取	順次買取	順次買取	順次買取	順次買取	順次買取	順次買取
	目標値	(単年度)出力 kW	300	300	300	300	300	300	300	300
		(累計)出力 kW	300	600	900	1,200	1,500	1,800	2,100	2,400
状況	工程	告知準備	告知準備	広報掲載・買取	順次買取	順次買取	順次買取	順次買取	順次買取	順次買取
	実績	(単年度)出力 kW	0	0	0	0	0	0	0	0
		(累計)出力 kW	0	0	0	0	0	0	0	0

(説明)

計画提案書記載の計画では令和4年度中に卒FIT買収の告知準備を行い、令和5年度から広報掲載、受付開始としていた。現状としては、令和3年度末以前から続く電力（燃料）価格の高騰の影響で、家庭向け小売電気事業も受付再開出来ない状況が続いており、卒FITの買収の為に準備が整っていない状況。

必ずしも電力小売と卒FIT買収が連動している必要はないが、今の所は合わせた取組として展開する方向で考えている。

≫計画提案書における買収計画：PV6kW×400件

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払		
その他交付金等（重点対策加速化事業）	精算払・概算払	500,000	
民間等による資金		1,444,000	
合 計		1,944,000	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

【省エネに係るもの】

○取組①：パソナグループ本社 ZEBReady 対応（目標値：基準一次エネルギー消費量削減 50%）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		合意形成・設計	工事完了	運用	運用	運用	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)削減率 %		0	50	0	0	0	0	0
		(累計)削減率 %			0	50	50	50	50	50
状況	工程		合意形成・設計	設計・工事	工事完了・運用	運用	運用	運用	運用	運用
	実績	(単年度)台数台			0	0	0	0	0	0
		(累計)台数台				0	0	0	0	0

(説明)

計画提案書記載の計画では令和5年度で設計、工事開始、令和6年度で工事完了し、令和7年度から運用開始としている。現状、パソナグループ本社の建設計画の進捗が当初予定より遅れている状況にあり、それに伴って柔軟に計画変更を行っていく。
 >>計画提案書における設備計画：高効率空調換気設備の導入

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	444,666	
その他交付金等 ()	精算払・概算払		
民間等による資金		222,334	
合計		667,000	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組②：関西看護医療大学 ZEBReady 対応（目標値：基準一次エネルギー消費量削減 50%）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		合意形成・設計	設計・工事	工事	工事完了・運用	運用	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)削減率%		0	0	50	0	0	0	0
		(累計)削減率%			0	0	50	50	50	50
状況	工程		合意形成・設計	設計・工事	工事完了	運用	運用	運用	運用	運用
	実績	(単年度)台数台			0	0	0	0	0	0
		(累計)台数台				0	0	0	0	0

(説明)

計画提案書記載の計画では令和5年度で合意形成、設計、令和6年度で設計、工事開始し、令和7年度で工事、令和8年度で工事完了、運用開始としている。現状、関西看護医療大学が令和8年4月にキャンパスオープンとしていることから、令和7年度に工事完了のスケジュールで進める予定。
 ≫計画提案書における設備計画：高効率空調換気設備の導入

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	113,954	
その他交付金等 ()	精算払・概算払		
民間等による資金		56,977	
合 計		170,931	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

別記様式第1号 別添

<民生部門電力以外の温室効果ガス排出削減等の取組>

○取組①：プライミクス社宅ヒートポンプ給湯器代替（目標値：500L設備の導入台数20台）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	調査・設計	設計・工事完了	運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)台数台		20	0	0	0	0	0	0
		(累計)台数台			20	20	20	20	20	20
状況	工程		合意形成・設計	設計・工事完了	運用	運用	運用	運用	運用	運用
	実績	(単年度)台数台			0	0	0	0	0	0
		(累計)台数台				0	0	0	0	0

(説明)

計画提案書記載の計画では令和4年度で調査・設計、令和5年度で工事完了し令和6年度運用開始としていた。一方で同時に計画していたカーポートPV導入について計画変更の必要性が出てきたため、価格高騰や部材の調達に遅れが生じている太陽光発電導入事業の見直しを最優先する事とし、一旦令和6年度以降工事完了へ変更する予定である
 >>計画提案書における設備計画：500L型ヒートポンプ給湯器20台

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	15,333	
その他交付金等 ()	精算払・概算払		
民間等による資金		7,667	
合計		23,000	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組②：南鶴崎団地ヒートポンプ給湯器代替（目標値：500L 設備の導入台数 15 台）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		調査・設計	工事完了・運用	運用	運用	運用	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)台数台		15	0	0	0	0	0	0
		(累計)台数台			15	15	15	15	15	15
状況	工程		合意形成・設計	設計・工事完了	運用	運用	運用	運用	運用	運用
	実績	(単年度)台数台			0	0	0	0	0	0
		(累計)台数台				0	0	0	0	0

(説明)

計画提案書記載の計画では令和4年度で調査・設計、令和5年度で調査・設計し令和6年度工事完了・運用開始としていた。一方で現状では、価格高騰や部材の調達に遅れが生じている太陽光発電導入事業の見直しを最優先する事とし、一旦令和6年度以降工事完了へ変更する予定である
 ≫計画提案書における設備計画：500L型ヒートポンプ給湯器 15台

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	11,500	
その他交付金等 ()	精算払・概算払		
民間等による資金		5,750	
合 計		17,250	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組③：東浦花の湯竹チップボイラー導入（目標値：1台）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	調査・設計	調査・設計	合意形成・工事	工事完了・運用	運用	運用	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)台数台			1	0	0	0	0	0
		(累計)台数台				1	1	1	1	1
状況	工程	調査・設計	調査・設計	合意形成・工事	工事完了・運用	運用	運用	運用	運用	運用
	実績	(単年度)台数台			0	0	0	0	0	0
		(累計)台数台				0	0	0	0	0

(説明)

計画提案書記載の計画では令和4、5年度で調査・設計、令和6年度合意形成、工事開始、令和7年度で工事完了、運用開始としている。令和5年3月30日には竹に関する各専門家らと交えた放置竹林意見交換会を実施して、竹利用の様々な利用方法開拓の中から放置竹林課題解決に向けて取り組む事、ひいては竹チップ製造コスト低下について参加者と認識共有、意見交換を行った。
 >>計画提案書における設備計画：竹チップボイラー1台

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	129,150	
その他交付金等 ()	精算払・概算払		
民間等による資金		43,050	
合計		172,200	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組④：聖隷淡路病院竹チップボイラー導入（目標値：1台）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	調査・設計	調査・設計	調査設計・合意形成	工事	工事完了・運用	運用	運用	運用	運用
	目標値	(単年度) 台数 台				1	0	0	0	0
		(累計) 台数 台					1	1	1	1
状況	工程	調査・設計	調査・設計	調査設計・合意形成	工事	工事完了・運用	運用	運用	運用	運用
	実績	(単年度) 台数 台				0	0	0	0	0
		(累計) 台数 台				0	0	0	0	0

(説明)

計画提案書記載の計画では令和4、5、6年度で調査・設計、合意形成を行い、令和7年度で工事開始、令和8年度で工事完了、運用開始としている。令和5年3月30日には竹に関する各専門家らと交えた放置竹林意見交換会を実施して、竹利用の様々な利用方法開拓の中から放置竹林課題解決に向けて取り組む事、ひいては竹チップ製造コスト低下について参加者と認識共有、意見交換を行った。
 >>計画提案書における設備計画：竹チップボイラー1台

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	209,396	
その他交付金等 ()	精算払・概算払		
民間等による資金		69,799	
合 計		279,195	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組⑤：EVカーシェア、V2X導入（目標値：EV導入台数50台）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		調査・スキーム確定	調査・スキーム確定	合意形成	仕入工事運用	運用	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)台数台				50	0	0	0	0
		(累計)台数台				50	50	50	50	50
状況	工程		調査・スキーム確定	調査・スキーム確定	合意形成	仕入工事運用	運用	運用	運用	運用
	実績	(単年度)台数台			0	0	0	0	0	0
		(累計)台数台			0	0	0	0	0	0

(説明)

計画提案書記載の計画では令和5、6年度で調査と事業スキーム確定を行い、令和7年度で最終の合意形成、令和8年度で仕入、工事、運用開始としている。パソナグループとの取組を想定しており、本社ビル建設の計画進捗と合わせて導入具体化に向けた協議を行う予定。

≫計画提案書における設備計画：カーシェアサービス用EV50台 V2X設備3箇所

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源			
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	85,120	
その他交付金等 ()	精算払・概算払		
民間等による資金		162,507	
合 計		247,627	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

<KPI>

○指標①： 夢舞台サステイナブル・パークにおける就業者数（人）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	(単年度)人数(人)									
	(累計)人数(人)									1,000
実績	(単年度)人数(人)									
	(累計)人数(人)									

(説明)

本市における就業者数は、企業誘致により雇用の創出等を図っているものの、少子高齢化及び都市部への人口流出に伴い、平成17年の国勢調査と平成27年を比較すると、24,187人から20,979人へと減少している。本計画エリアである夢舞台サステイナブル・パークでの企業等の誘致により、更なる雇用を創出し、脱炭素とあわせ経済的なインパクトを市内外に波及させる。

○指標②： 竹チップ使用量（t）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	(単年度)使用量(t)				200	300				
	(累計)使用量(t)				200	500	500	500	500	500
実績	(単年度)使用量(t)									
	(累計)使用量(t)									

(説明)

放置竹林は、イノシシのすみかとなることから農業への獣害を及ぼし、また、土地の水源かん養機能が低下することから、土砂災害、土壌崩壊の危険が拡大する恐れがある。竹の活用については、兵庫県淡路県民局が資源化プロジェクトを進めたが、目標設定には至らなかった。本市での温浴施設等に竹チップボイラを導入し、竹の資源化を図ることで、放置竹林の拡大防止により、獣害被害及び市域の防災の抑制を図る。

○指標③： EV車両普及台数（台）

		令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度	令和8 年度	令和9 年度	令和10 年度	令和11 年度	令和12 年度
目標値	(単年度) EV(台)									
	PHV(台)									
	(累計) EV(台)									800
	PHV(台)									800
実績	(単年度) EV(台)									
	PHV(台)									
	(累計) EV(台)									
	PHV(台)									

(説明)

公共交通が脆弱な本市において、世帯あたりの自家用乗用車保有台数は、全国平均よりも高く、1人が1台を保有する地域性がある。

家庭等で所有する複数台のうち、走行距離が少ない車両をEV化することで、高騰するガソリン代を抑制し、年間の維持経費を削減することが可能となる。また、淡路島内では、大規模太陽光発電の増加に伴い系統の制約があるため、EVを需給調整に活用することで、交通インフラの拡充・運輸部門の排出量削減・太陽光発電の出力抑制防止を同時に目指す。

<事業実施体制、事業継続性等>

事業	事業者	調整・協議状況 (設立準備、一般送配電 事業者との連携協議等)	事業性		課題
			コスト	事業採算性確保の見通し (金融機関協議状況等)	
PPA 事業・・・	株式会社ほくだん	"R4 年度：こども園、 AIE の 2 件につき、系統 連系事前相談による懸念 事項無し、及び需要家と の契約単価合意済み。 R5 年度以降案件：需要 家と PPA で進めるか自 己投資で行うか含め協議 を進める。"	">>R4 年度案件 活用する電源・・・太陽光発 電(民間施設 2 件) 総事業費・・・5,298 万円 交付金活用額・・・3,636 万 円 民間等による資金額・・・ 1,662 万円 PPA 料金単価(融資実 行時金利で最終決定) ・こども園・・・24.5～27.6 円/kWh ・AIE・・・24～25.5 円 /kWh 投資回収年数・・・15 年 減価償却年数 ・PV・・・17 年 ・パワコン・・・10 年 ・蓄電池・・・6 年"	・みなと銀行から融資を 受けることが決定済。	金利変動が激しい状況で あり、融資実行時期の金 利が現時点で予測し難 い。
再エネ発電事業・・・	株式会社ほくだん	令和 6 年度以降：ため 池、営農 PV	今後検討	今後検討	今後検討

別記様式第1号 別添

<p>小売電気事業 (地域新電力) …</p>	<p>株式会社ほくだん</p>	<p>"・令和3年度4月事業 開始 "</p>	<p>"R5年度事業収支計画 営業利益・・・900万円 税引後利益・・・770万円 "</p>	<p>・みなと銀行から運転資 金を借入れ、事業を実施 している。</p>	<p>エネルギー価格の高騰に より、電力調達価格が約 2倍に高騰。一般家庭等 への展開から撤退し、市 の公共施設のみの契約。</p>
<p>・アグリゲーター事業… エネルギーマネジメント 運用…</p>	<p>株式会社ほくだん、シ ン・エナジー(株)</p>	<p>小売電気事業の需給管理 の範囲内で、再エネ電源 の融通を行う予定。アウ トプットとしては、(株)ほ くだんの電力小売りに再 エネ100%メニューを 展開。</p>	<p>コスト含め検証は今後行 う。PPA 需要家からの余 剰や、ため池 PV 等の実 装の動きに合わせて具体 化していく。</p>	<p>今後検討</p>	<p>今後検討</p>
<p>EV シェアリング…</p>	<p>三井物産(株)、シン・エ ナジー(株)、パソナグル ープ含めたパートナー体 制検討中</p>	<p>パソナグループの本社移 設の進行に合わせて協議 予定。現在、本社移設工 事内容の計画変更中にて 協議保留中。</p>	<p>今後検討</p>	<p>今後検討</p>	<p>今後検討</p>

<進捗管理の実施体制>

名称	取組内容（予定）	実施状況 (主な意見、懸念事項等)
アクションプラン策定	<p>記載内容：アクションプランによる達成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象需要家の太陽光発電による自家消費率目標 2. 新設されるビルの第1次エネルギー消費量の削減率目標 3. 対象需要家の消費電力の内、自家消費太陽光以外の電力を脱炭素化する為の再エネ電源の開発目標値 4. 対象需要家の電力消費の内の再エネ電源及び再エネ由来電力購入の割合目標 5. 竹チップの年間消費量目標 	<p>令和5年2月24日に「淡路市脱炭素先行地域づくり事業評価委員会」を開催。アクションプラン案について委員から意見をもらい、令和5年度以降も順次内容を改善しながら、委員会において進捗を評価し易いものとしていく事となった。</p>
評価委員会の開催	<p>淡路市企画情報部まちづくり政策課、(株)ほくだん、シン・エナジー(株)を事務局として、(公財)地球環境戦略研究機関2名及び淡路景観園芸学校、兵庫県、淡路市民、夢舞台サスティナブル・パーク創造委員会各1名の評価委員で構成する。評価委員会では、アクションプランの進捗に関し本市および(株)ほくだんが報告を行い、評価委員は事業の進捗に関する評価を行うとともに、必要に応じて次年度の進捗目標達成に向けた提言を行う。最終年度末に開催される評価委員会において事業の最終評価を行う。最終評価に際しては、淡路市および株式会社ほくだんがアクションプラン達成度に加え、以下の項目についても報告を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 市内戸建て住宅の電力消費に伴う CO2 排出量 - 夢舞台エリア内の電力消費に伴う CO2 排出量 <p>事業実施前と実施後の地域循環経済指標の変化評価委員は報告に基づくヒアリングを行い、評価委員会として最終評価報告書を作成する</p>	<p>令和5年2月24日に評価委員会を開催。委員より以下の様な意見が出たので、令和5年度からのアクションプラン改善に反映させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EVカーシェアとヒートポンプによる太陽光発電電力の吸収（PV最大導入手法の一つ）もアクションプラン目標追加要検討。 ・各取り組みのボトルネックを明記できる様にする。 ・項目ごとの因果関係が分かる様な記載方法の検討。 ・最終目標の年度ごとの進捗を追加。 ・R5年度以降はアクションプラン案を前広に委員が確認出来る様に工夫する。

<他地域への展開に関する取組>

令和5年12月より聖隷こども園夢舞台とAIE国際高等学校のPPAによる自家消費太陽光発電が実装されるので、市広報やメディアなどで取り上げる事で淡路市脱炭素取組の市民認知度を上げる取組へつなげる。

<地方公共団体実行計画の策定又は改定状況>

地方公共団体実行計画の策定又は改定状況

取組内容	改正温対法に基づく地方公共団体実行計画の策定又は改定状況等
事務事業編	<input checked="" type="checkbox"/> 改定済（平成31年3月） <input type="checkbox"/> 改定中（ 年 月策定予定） <input type="checkbox"/> 改定予定なし （理由： ）
区域施策編	<input type="checkbox"/> 策定・改定済（ 年 月） <input checked="" type="checkbox"/> 策定・改定中（令和7年3月策定→改定予定） <input type="checkbox"/> 策定・改定予定なし （理由： ）
促進区域の設定	<input type="checkbox"/> 設定済（ 年 月） <input checked="" type="checkbox"/> 検討中（令和7年3月設定予定） <input type="checkbox"/> 設定予定なし

（以下の項目については、計画対象年度に策定・改定した場合にのみ記載してください。）

【事務事業編】

計画期間：
 削減目標：
 取組概要：

対象	目標値
温室効果ガス総排出量	
太陽光発電設備を設置	
公共施設の省エネルギー対策の徹底	
公用車の電動車の導入	
LED照明の導入	
再エネ電力調達の推進	

【区域施策編】

計画期間：
 削減目標：
 施策の実施に関する目標：

施策分類	目標・取組
再エネの導入促進	
事業者・住民の省エネその他の排出抑制促進	

【改正温対法に基づく促進区域の設定方針】

--